日本勤労者山岳連盟・静岡県勤労者山岳連盟

裾野麗峰山の会 (sine１９９４)

第２３期・８巻　２０１７年11・12月号　NO. １９９

仲間と仲間を結ぶ機関誌

れいほう

Susono Reihou Alpine Club

「富士山雪化粧」

山行ＮＯ．１７６５
１１月２６日（日）
宝永山・第三火口御殿庭上

イ、１２月度・例会報告　　１２月３日（日）　生協会議室　１５：３０～

・１０月２９日（日）参加＝室伏・峰田・伊藤・合谷・(理事＝後藤・加藤)
「山の天気の基本と気象遭難を防ぐ天気図見方」ヤマテン・河野卓朗氏
清水区役所「ふれあいホール」１３：１０～
１．風はＨからＬに吹く。
２．しかし、９０度方向を変え、等高線に沿って吹く。
３．等圧線の幅を注視。
４.幅が沼津から大阪までの距離､約３００ｋｍ以下の幅の場合は､要注意。
５．天気は地域性があるので、常に研究が大切。
＊当日は、台風２２号襲来で大変でした。欠席もあった。
・１０月２９日（日）午前中＝第４回・理事会

講習会風景

・１１月１９日（日）伊豆ハイキングクラブ・３０周年記念レセプション・・・後藤、加藤
函南・上沢公民館・・・１３：３０～。約７０名
記念誌をいただいた。
全国連盟・県連挨拶に続き、関係者挨拶。乾杯後、山の歌などを楽しむ。
１６時散会。

田上千俊（ちとし）全国理事・挨拶

レセプション風景

・来期県連組織数を１１月末で報告
先期と同じ１７名で登録（＋－＝０）・・・退会５名
・事故・・・三島＝黒川鶏冠山・・・足で踏んだ枝が跳ね眼を負傷

ロ、山行報告

１０月１４日（土）～１５日（日）　秋山合宿・・・雨中止
１４日＝小川山登山（民宿泊）　１５日＝甲武信岳登山
１０月１６日（月）～１８日（水）　個人山行・・・黒部川＝下の廊下～欅平＝加藤、峰田、他
１０月２１日（土）　御坂山塊＝雨中止
１０月２７日（金）　八ッ・硫黄岳・・・後藤、加藤
１０月２８日（土）　ハイクの日・・・雨中止
１０月２９日（日）　県連＝安全登山講習会
車１台＝５名予定（車代は会負担）参加＝室伏・峰田・伊藤・合谷
「山の天気の基本と気象遭難を防ぐ天気図見方」ヤマテン・河野卓朗氏
清水区役所「ふれあいホール」１３：１０～
１０月３０日（月）～１１月２日（木）　個人行事＝熊野古道・中辺路

１１月０９日（木）　愛鷹山ブナ観察・・・後藤、加藤
１１月１２日（日）　東部ブロック交流ハイク＝甲斐・日向山
参加＝後藤、峰田、加藤、合谷　全体＝４５名
１１月１８日（土）　金冠山・・・後藤、加藤
１１月２６日（日）　個人山行・・・富士山２３５２ｍ峰＝後藤

１２月０２日（土）　定例ハイク・・・滝子山・寂梢尾根＝後藤、峰田、加藤

ハ・今後予定

１２月０２日（土）～０３日（日）　女性と全国登山集会＝国立女性教育会館
１２月０９日（土）　個人山行＝御坂・鬼ヶ岳南尾根

１２月１６日（土）　　忘年山行＝丹沢・大野山
　　宴会は下土狩「喜作寿司」
１２月２３日（土）　　個人山行
１２月２８日（木）～３０日（土）　　戸台～北沢峠～甲斐駒～七丈小屋～黒戸尾根～駒神社

二・牛ヶ峰＝県連交流ハイク計画
２０１８年1月１４日（日）
東部ブロックで大型バスを出す。
修善寺始発―三島駅北口―長泉―裾野市役所―沼津ＩＣ－富士ＩＣ－新東名―新静岡ＩＣ
山頂集合１１：００・・・山頂で甘酒が出る（マイカップ持参がイイ）
参加費＝３０００－くらい。

ホ・山行報告

山行NO　　ＮＯ．１７５７
日　時　　２０１７．１０．０４（水）～０６（金）
山　域　　群馬・戸神山（７７１ｍ）、谷川岳馬蹄形縦走（白毛門１７２０ｍ、朝日岳１９４５ｍ、茂倉岳１９７８ｍ、谷川岳１９７７ｍ）
参加者　　ＧＴ，ＫＨ，ＭＭ，ＧＭ，ＨＴ＝５名

０４日（水）晴　　戸神山
コース　　長泉９：００－東名―圏央道―関越―沼田ＩＣ－戸神神社発１２：０７－戸神山１２：４９～１３：００－神社１３：３５－水上ＩＣ－谷川岳ＢＰ（ベースプラザ）１５：００（泊）
標高差　　上り　戸神神社約４５０ｍ～戸神山７７１ｍ＝約３２１ｍ
　　下り

やっと上れた戸神山

予定より３Ｈ遅れで長泉発。私が計画変更を２名に知らせ忘れたからだ。それでも登山口の戸神神社には、１２時過ぎに到着した。天気は良く暑いくらいだった。登山口の寺脇の駐車場に車を置き出発。しばらく林道を進み、やがて登山道。上るに従って岩混じりの急登になる。

関越道から戸神山

この山は、関越道から良く見える。毎度、関越道を通過するたびに目立つ山で、昔から上りたいと気になっていた。岩道をグングン上る。上るに従って関越道の車の音が聞こえた。１時間掛からないで頂上だった。正面に武尊山が大きかった。

頂上の北側は雲が多く、小雨がパラパラ。気温も急激に下がった。軽装の登山者が一人上って来た。少し食べて飲んで、早々に下山。下れば温かくなった。下山は途中から、林道コースを行く。オバサマ方が３名やって来た。駐車場に着いたら、これから上るご婦人が３名。なかなか人気の山らしい。

再び車の人となり、水上ＩＣから谷川岳ＢＰに入る。１７時以降は無料という。２日分、１０００ーを支払った。係りが帰るまで土産物屋ベンチで一杯やった。帰った時間を見計らって駐車場にジャンボエスパースを張って夕食。今日は平日だから駐車場に入れたが、今後は、紅葉シーズンで入れないそうだ。

０５日（木）晴

コース　　起床４：００ー白毛門登山口発５：１１ー松ノ木沢の頭７：１８ー白毛門８：１２ー笠ヶ岳９：１６ー朝日岳１０：３８ー清水峠１２：４４ー七ッ小屋山１３：５９ー蓬ヒュッテ１４：４５（泊）

標高差　　白毛門登山口約６９０ｍ～白毛門１７２０ｍ＝約１０３０ｍ

霧氷・紅葉・緑、三段染めの山

昨夜は大雨で駐車場は雨音が響いていた。今日、晴れなかったら他に転戦も考えた。しかし、朝方外を覗くと南方は星が光っていた。本日は長いコースだから、雨だけは避けたかった。

手早く朝食を済ませ、車で白毛門登山口に下りた。駐車場は車が数台。ヘッデンで出発。物凄い急登を行く。すぐ暑くなった。白毛門まで兎に角、急な上り。休むとイヤになるので、松ノ木沢の頭まで頑張った。お蔭で女性軍からブーイングだった。

岩場

松ノ木沢の頭から白毛門

　更に急登をこなし白毛門頂上。頂上にはピッケルが埋め込まれていた。天気はまあまあだった。朝掛かっていた、谷川岳のガスも取れ、一の倉沢の全貌が遠望された。改めて凄い山と思った。２千ｍも満たない山なのに。笠ヶ岳に向かう。この辺りは紅葉が見事だった。更に、昨夜の雨が雪・霧氷となり、頂稜部は真っ白、中間部は紅葉、下部は緑の、いわゆる「三段染め」だった。一同、痛く感動・感激・感動だった。

手前が笠ヶ岳

谷川岳遠望

霧氷・シュカブラ

笠ヶ岳を経て、朝日岳上りに掛かる。霧氷・シュカブラが見事だった。シュカブラを食べる。無味・無臭。味はないが、乾いた喉に「美味しかった」。朝日岳に着いた。見事な展望だった。北に尖がった越後駒、右に会津駒、その南に平ヶ岳、燧ケ岳。西に巻機山があった。風があったので少し下って池塘で休憩。以前、ナルミズ沢をやったことがあるが、沢の詰めはここだった。が、全く記憶になかった。

朝日の上りで男女２名に会った。天気が悪く茂倉岳と清水峠に泊まったという。女性は元気な方だった。馬蹄形縦走を随分と強調していた。

朝日岳

皆と合流し朝日岳から清水峠に下る。最初は、雪が積もった木道で神経を使った。やがて、ザレたトラバースの道が続き結構悪い。右手は数百mの崖で落ちれば助からない。集中して下った。ジャンクションピークに道標があった。

道標は、巻機山を指していた。少し覗くと、熊笹が酷く、とても歩ける道でなかった。エアリアマップも、赤線は描かれていない。山レコも、殆ど５～６月の残雪期の記録のみだった。ところが、山日記を何げなく眺めていたら、驚くべき記録があった。何と、１９７４年８月２日～５日、自身が巻機山～白毛門まで歩いていた。しかし、まったく記憶がない。調べてみた。同行者はＯ（オー）。

８/２　　上野発２２：１３～六日町３：３４（泊）
　/３　　清水集落７：００～米子沢７：３０～稜線１３：５５～巻機山１４：０５
　　巻機山と米子頭山のコル１５：２５（テン泊）
　/４　　起床６：００～米子頭山７：３０～柄沢山９：０５～朝日岳１４：４０（テン泊）
　/５　　起床４：００～笠ケ岳６：４０～白毛門７：２５～土合９：０７～上野１１：５０

１９７４年といえば、今から４３年前。記録を見る限り、当時は夏でも歩けた記録でした。しかし、くどい様だが全く記憶はゼロだった。４３年前では、無理もないが・・・。

途中、昨夜、蓬ヒュッテに泊まった新潟のツアー、１２～３名に会った。前後の若いガイド以外はオバさま方だった。後に蓬ヒュッテで聞いた情報では、お客は新潟の方達、ガイドは現地・水上のガイドといった。逆コースの理由は、多分、ロープウェイが使えるからだろう。

朝日岳の池塘を眺める

やがて三角形の大きな建屋が見えると清水峠だった。立派な送電線もある。三角家屋はＪＲ東日本の送電線監視小屋だった。登山用の避難小屋は、その脇に申し訳程度に建っていた。５～６名入れば満杯。この避難小屋もＪＲ東日本の所有だった。

そもそもＪＲ東日本は、ネットによると、首都圏の９０％の電力は自家発電という。つまり、東電がアウトでも電車は動く訳。清水峠の大きな送電線の電気は、首都圏に運ばれている。新潟の水力発電である。

七ッ小屋山を目指す。上り返しがキツイ。ここで私がアクシデント。登山道に池塘があった。木道を歩いて池塘を渡るが、木道が池塘に消えているので、脇に足を置いたら、もろに池塘にハマった。足首まで池塘の泥炭に潜ってしまった。あああ、あと数分で蓬ヒュッテなのに！！！最悪であった。

ズボンを脱いで替えズボンを履き、登山靴を洗った。５０年の登山人生で、こんなことは初めてだった。池塘は、「チト（池塘）、気をつけなければ」であった。後で小屋番に聞いたら、結構「落ちる」そうだ。

右下に蓬ヒュッテ

蓬ヒュッテに着いた。ここも数十年振りだった。１９７１年７月１０日～１１日（単独）と同年、１１月２０日～２２日（芦安・清水と）以来だった。当然、当時の記憶は全くない。ヒュッテは、小さい小屋だった。二段式ベッドがあり、２０名泊まれば一杯の感じ。

実は今回、前出の新潟のツアーが泊まって混むと言うので、予定を一日ズラした。お蔭で、一昨日・昨日と天気が悪かったが、これも回避できたし、ヒュッテも貸し切りで良かった。ヒュッテに着くなり小屋番は、「明日の水はあるか」と聞いた。「ない」と答えると、「先に水を汲みに行け」という。

往復２５分の道のりらしい。ま、時間があったので全員で向かった。土樽の道を１５分程下ると、イイ水がガンガン流れていた。

また、傍らに４Ｌの大五郎のペットボトルが数本置いてあった。小屋番は何も言わなかったが、全員でペットボトルを満タンにして小屋に運んだ。これに小屋番は大いに喜んだ。小屋主人は、高波菊男氏だった。あの有名な、吾策新道の高波吾策氏の孫にあたる方だった。ヒュッテは、苗場町の所有。家賃を払って営業。従って上がりは氏のもの。ただし、荷揚げは全て人力。１５ｋｇを４時間掛けて揚げるそうだ。

ビア＝６００－は安い。ほか、氏推薦の地酒「雪男」は、サッパリ系の日本酒で、６杯やってしまった。

高波喜菊男氏

氏とはいろいろ話した。小屋番はお客と話してはいけないことが二つあるという。一つは、野球の話・二つは政治の話。しかし、その夜、氏は何故かタブーを破り大いに「政治」を語った。

また、小屋は労山割引が利いた。ただ、会員証を持参したのは、私とＭだけだった。なお、５００－割引だが、全国連盟からのバックマージンはゼロで、全て持ち出しとのことでした。大いに交流し喋った。氏から「ゴトウさん、もう寝ましょう」と促され床に就いた。今日は約１０Ｈのロングランで、気持ちが高ぶり寝付けなかった。

夜半、小屋はゴーゴーを、風が唸りを上げていた。トイレに起きたら、外は深い霧だった。

０６日（金）晴・風強し

コース　起床４：３０－蓬ヒュッテ発５：２５―武能岳６：２５－茂倉岳８：０１―一の倉岳－ノゾキ８：５１－谷川岳９：２１―トマの耳９：３９－肩の小屋９：５０～１０：１０―西黒尾根―指導センター１３：０６－温泉「林屋旅館」―食事―長泉１７：３０ころ

標高差　上り　蓬ヒュッテ約１５２９ｍ～茂倉岳１９７８ｍ＝約４４９ｍ
　　下り　谷川岳１９７７ｍ～指導センター約７６０ｍ＝約１２１７ｍ

谷川岳の超自然現象に痺れた

簡単な朝食で出発。昨夜は暑くて寝つきはイマイチだった。小屋外は強風と霧。後で分かったがここは風の通り道だった。完全装備で行く。手袋も２枚だった。

武能岳に上る。今日はＫに先導して貰った。登山道の笹が刈ってあり有難い。笹で結構、足が濡れるからだ。途中に草刈り機が置いてあった。これも小屋番の仕事だろうか。

草刈り機

風は相変わらず凄かった。特に茂倉岳のコルはぶっ飛ばされそうな風だった。コルは風の通り道だった。単独に一名会った。この上りで、ＧＹの右足が攣ってしまった。帰静して分かったが、痙攣でなく、「軽い肉離れ」だったという。

私も今年スキーで左足を肉離れした。普通、肉離れは大きな衝撃で起こるが、厳しい上りでも、なるのか

と思った。少し鍛錬を増やす必要があると思った。

一ノ倉岳に向かう。対岸の白毛門が近い。いよいよ、馬蹄形縦走も大詰めに近づいた。下ると「ノゾキ」。一の倉沢を俯瞰する。上部は、恐ろしい岩壁だった。

上り切れば「オキの耳」で、谷川岳の呼称になっている。「トマの耳」通過し、肩の小屋に下る。

上空はモーレツな風らしく、パタゴニアみたいな風雲が流れる。

超現象

西黒尾根を下る

一同、痛く感心・感動し、いつまでも眺めた。肩の小屋で休憩。皆はココアを飲み、オデンを食べた。寒い時は小屋が有難い。西黒尾根を下山。天神平からロープウェイの案もあったが、最後までキッチリ・シッカリ決めたかった。

下り難い岩場を下る。無雪期、ここを下るのは珍しい。下るに従って風はなくなり暑くなって来た。厳剛新道からＫが先行し、車を白毛門登山口から谷川岳ＢＰまで、上げに行ってくれた。

長い長い下降でようやく車道に降りた。指導センターで靴を洗って終了。１９８１年、当時、M労山だったＴ電機大学生だった沼津のＫ君は、一ノ倉・烏帽子岩で懸垂を誤り墜死。Ｍ・Ｓ・Ｔ・私が駆けつけた時は、土間でシュラフに入っていた。

車道には、一ちゃん、倉ちゃん愛称のミニバスが走っていた。谷川も変わったものだ。湯檜曽に下り、今回の馬蹄形縦走に大いに満足し、林屋のサイコーの温泉で汗を流した。

山行NO　　ＮＯ．１７６２
日　時　　２０１７．１１．０９（木）無風・快晴
コース　　山神社９：００—大沢—割石峠１０：３８—蓬莱山１０：５４ー鋸岳—位牌岳１２：２６～１３：００—前岳１４：０５—大沢—山神社１５：３０
参加者　　ＧＴ，ＫＨ＝２名

ブナ殻斗（かくと）

愛鷹連峰・ブナ定点観測表　　観察者・裾野麗峰山の会　　観測域・第一ブロック（大沢～割石峠～呼子岳～鋸岳～位牌岳～前岳～大沢）

NO		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
場所		大沢沿い	大沢沿い	割石峠直下	呼子岳頂上	蓬莱山手前	鋸岳・1	鋸岳・2	鋸・位牌間	位牌岳頂上	位・前岳間	前岳頂上	前岳頂上
標高		980m	1080m	1200m	1313m	1260m	1230m	1300m	1320m	1457m	1375m	1336m	1336m
樹高		20m	10m	15m	10m	7m	6m	8m	12m	15m	10m	15m	0. 3m
目通		71cm	17cm	66cm	35cm	28cm	16cm	23cm	40cm	67cm	45cm	55cm	
愛称		まりこ	たかこ	ひろこ	ひでこ	かずこ	せつこ	としえ	ともこ	かがみ	あけみ	いよ	さちこ
2000/7/1	10/7	4 ○	4 ○	5 ○	2 △	未 ○	未 ○	未 ○	4 ○	4 ○	4 ○	3 △	
2001/8/19	10/21	4 未	4 未	4 未	4 未	未 未	未 未	未 未	3 未	4 未	4 ×	3 ×	
2002/6/23	11/17	4 ×	4 確	4 △	2 ×	3 ×	4 ×	2 ×	3 ×	4 ×	4 △	3 △	5
2003/6/1	6/1	4 ×	4 △	未 △	未 ×	未 ×	未 ×	未 ×	未 △	未 △	4 ○	4 ○	4
2004/6/27	6/27	4 ×	4 ×	5 ×	2 未	3 未	3 未	3 未	4 ×	4 ×	4 ×	4 ×	不明
2005/6/5	10/27	4 ×	4 ×	4 ×	4 未	4 未	4 未	4 未	4 ×	5 ×	4 ×	4 ×	消滅
2006/6/11	10/22	4 ○	4 ×	5 ○	4 ×	4 ×	4 ×	3 ×	4 ○	5 ○	4 未	4 未	〃
2007/6/10	10/14	4 ×	4 ×	5 ×	4 ×	4 ×	4 ×	4 ×	5 ×	5 ×	4 ×	4 ×	〃
2008/6/15	11/9	4 未	4 未	3 未	4 未	4 ×	4 ×	5 未	4 未	4 未	4 ×	4 ×	〃
2009/5/16	10/17	4 ×	4 ×	4 ×	未	未	未	未	4 ×	4 ×	4 ×	4 ×	〃
2010/春未実施	10/23	4 ×	4 ×	4 ×	未	4 ×	4 ×	5 ×	4 ×	4 ×	4 ×	4 ×	〃
2011/春未実施	10/10	4 ×	4 ×	4 ×	未	4 ×	4 ×	5 ×	4 ×	4 ×	4 ×	4 ×	〃
2012/5/5	秋未実施	4	4	4	未	4	4	5	4	4	4	4	〃
2013/	11/3、12/1	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	4 △	4 ×	5 ×	4 ○	4 ○	4 ○	4 ○	〃
2014/	12/7	○	○	○	○	△	4 ×	5 ×	○	○	○	○	〃
2015/5/9	11/29	4 △	4 △	4 △	4 未	未 ×	未 ×	未 ×	未 ×	未 ○	未 未	未 ○	〃
2016/6/11	11/5	4 ×	4 ×	4 ×	4 ×	未 未	未 未	未 未	4 ×	4 ×	4 ×	4 ×	
2017/5/27	11/09	4 ○	4 ○	4 ○	4 春○	4 ×	4 ×	5 ×	4 ○	4 ◎	4 ×	4 ○	

＊注＝鋸岳は稜線で風が常に強く、自然環境が厳しい。ただ、幼木は多い

結実度観察判定　○＝豊作・沢山付いている。沢山落ちている。　△＝普通・まあまあ。多くもなし、少なくもない。　×＝不作・全くない。ほとんどない。

メモ　2013年秋＝鋸岳の岩場には5～10年の幼木多数あり。NO. 4呼子岳頂上、NO. 6鋸岳は、木に沢山実が残っていた。

よって本年度は全山で豊作と思われる。

2010年春＝春は藪が多く、ダニ被害があるので、活力度も秋に行った。

2017年秋＝大豊作だった。特に位牌岳大ブナは、枝に沢山ついていた。

位牌岳・大ブナ

看板はボチボチ替えようか？？

目視でもバッチリ（嬉しいね～！！）

行NO　　ＮＯ．１７６３
日　時　　２０１７．１１．１２（日）無風・快晴・低温
コース　　山梨・日向山（１６６０ｍ）
目　的　　静岡県東部ブロック・交流ハイキング＝全体で４５名

快晴でバンザ～イ＝４５名笑顔が弾ける！！！

影が長げ～！！

「れいほう」１１・１２月号　　おわり